発行所：一般社団法人
奈良県作業療法士会　広報係
事務局：〒636-0151
奈良県生駒郡斑鳩町龍田北 4-2-26
TEL:0745-47-0823
FAX:0745-47-0825

【目次】

巻頭言…1　会長だより…2　第 16 回奈良県作業療法学会「御礼」「優秀演題賞を受賞して」…3
各部局からのお知らせ…4・5・6　委員会だより…7・8　ブロックだより…9
エッセイリレー…10　施設紹介…11　メールマガジン登録のお願い…12
LINE 公式アカウントのお知らせ…13　問い合わせ…14

巻頭言

近畿府県合同防災訓練に参加して

奈良学園大学　リハビリテーション学科
作業療法学専攻　中田　修

つい先日まで昼間は半袖で過ごせるほどの暑さが続いていたのに、気がつけば朝晩の冷え込みに戸惑う季節となりました。会員の皆様におかれましては、お元気でお過ごしでしょうか。私たち作業療法士にとって、季節の移り変わりは対象者の生活リズムや活動参加を支えるうえで欠かせない要素です。しかし近年は、気候変動の影響もあってか季節感が薄れつつあるように感じられます。改めて、環境や気候の変化に目を向け、生活の中にある「季節の作業療法」を考える機会としたいものです。

さて、去る 10 月 25 日（土）、本学作業療法学専攻の学生を含む約 30 名が、「令和 7 年度近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・奈良県防災総合訓練」という何ともいかめしい名称の訓練に患者役ボランティアとして参加しました。今回は特に「DMAT 広域鉄道搬送訓練」という、全国的にも珍しい電車による患者輸送の訓練が行われました。飛鳥駅前では、自衛隊車両によって搬送された患者役の学生に対して DMAT によるトリアージが行われ、刻一刻と変化する症状に応じて区分が変更されるなど、本格的な訓練が展開されました。電車内では担架や車いすが並び、心臓マッサージや挿管（人形を使用）も実施され、車中には緊迫した空気が流れていました。医療職を志す学生にとって、災害現場を再現した訓練を間近で体験できたことは、大きな刺激となったようです。看護学生の中には、救急救命や急性期医療への関心を新たにした者もおり、また地域の消防団や自治体職員が連携して活動する姿から、多職種協働の意義を実感する良い機会になりました。南海トラフ巨大地震の発生確率が今後 30 年で 60～70%とされる中、こうした訓練に参加する意義は決して小さくありません。私自身、このような状況下で作業療法士として何ができるかを考える中で、まず一人の生活者として備えを整えることの重要性を改めて感じました。自らが暮らす地域の広域避難場所の確認や、非常持ち出し袋の準備、家族との連絡手段の確認といった日常的な防災行動があってこそ、いざというときに専門職として周囲を支える行動につながるのだと思います。

作業療法士が支える「日常の生活」は、平時のみならず非常時にも続いていきます。学生のみならずすべての作業療法士がその原点を忘れず、これからも地域の中で確かな実践を積み重ねていく必要があると思いました。

会長だより

西井　正樹

平素より県士会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様におかれましては、日々の臨床業務等でご多忙のことと存じます。さて、今回の会長だよりでは、「協会員＝士会員」制度について、協会との進捗状況についてご報告いたします。

去る 10 月 25 日、全国士会長会議（通称：よんぱち委員会）が開催されました。その中で、協会より「協会員＝士会員を目指すということ」と題した文書が発出されました。内容を要約すると、以下の通りです。

① 協会と士会は別法人であるが、どちらも作業療法士の専門性を守り、国民の健康に貢献するという目的は共通している。
② 協会員は士会員でもあるべきという旧規定があり、「協会員＝士会員」の考えの原点となっている。
③ 団体間の連携は進んでいるが、個人では片方にしか所属していない例も多い。作業療法士は全国と地域の両方で役割を担うため、両団体への所属が望ましい。
④ 会費一括徴収の方策は断念され、現在はそれぞれの運営を尊重しつつ、柔軟な連携方法が提案されている。

この制度について、協会より原案が示されたのは 2019 年、今から約 6 年前のことです。しかしながら、各士会の事情もあり、制度導入は現在も進んでいない状況です。

奈良県士会においても、①から③については至極当然のこととして捉えています。しかし、④の「会費一括徴収」については、導入が困難である理由の説明が十分でないまま、協会側から一方的に断念された形となりました。

この件に関しては、士会でも 2018 年の理事会にて独自の会員管理システム導入を検討しておりましたが、協会から会費一括徴収の話題が出ていたため「保留」とし、結果として 6 年が経過しております。

この間、ブロック長ならびにブロック財務の皆様には多大なご負担をおかけしました。他府県の会員数の多い士会では事務員を雇用するなどの対応が可能ですが、奈良県作業療法士会は、会員の皆様のボランティアによって運営されております。

この件については、士会長として協会に対し引き続き説明を求めてまいります。また、会員の皆様には今後も経過をご報告させていただきます。

今後とも、士会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

御礼：第 16 回奈良県作業療法学会～結集せよ、そして解き放て！～

医療法人鴻池会　秋津鴻池病院リハビリテーション部　　木納　潤一

2025 年 9 月 7 日に開催いたしました「第 16 回奈良県作業療法学会」は、理事の皆様、会員の皆様、そして多くの関係者のご協力により、無事に盛会のうちに終了することができました。心より厚く御礼申し上げます。学会テーマとして掲げた「結集せよ、そして解き放て！」には、奈良県作業療法士会がこれまで培ってきた“結束力”や“仲間意識”を改めて感じ合える一日にしたい、という私自身の願いを込めておりました。本来であれば、地域の課題や作業療法の本質を問うテーマ設定が一般的ではございますが、今回はあえて“仲間と集い、思いを解き放つ場”をつくることを重視いたしました。

当日は、参加型ワークショップやカフェコーナー、そして大盛況となったマリオカート大会など、皆様が自分らしく参加できる企画を多数用意いたしました。特にマリオカート大会では、16 チーム・64 名が一つの教室で熱戦を繰り広げ、年齢も職域も超えた交流が生まれました。また、OT 学生の皆様にも多数ご参加いただき、養成校の先生方には多大なるご協力を賜りました。学生の皆様が「奈良県士会の未来」を感じられる機会となったことも、本大会の大きな成果であったと考えております。

ご参加いただいた皆様それぞれが、学びを得て、仲間とつながり、人柄に触れ、刺激を受け、まさに“自分らしく解き放つ”時間になっていれば、学会長としてこれ以上の喜びはございません。皆様が一堂に会したからこそ生まれた空気、笑顔、語らいが、今回の成功を形づくってくださいました。改めて、結集することの価値と力強さを皆様と共有できましたことに、心より感謝申し上げます。

今後とも、奈良県作業療法士会の活動に変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

～優秀演題賞を受賞して～

医療法人鴻池会　秋津鴻池病院リハビリテーション部　　菊谷　樹

9 月 7 日に大和大学白鳳短期大学にて第 16 回奈良県作業療法学会が開催され、演題発表のため参加させていただきました。当日の参加者は 233 名であり、これは過去最多のものであったとのことです。演題発表の他にもワークショップやシンポジウム、マリオカート大会など多くのプログラムがあり、とても参加しがいのあるものとなっていました。学会のテーマは「結集せよ、そして解き放て！」であり、同じ作業療法士が「結集」し、自身の考えやアウトプットなどを「解き放ち」各々のスキルを高め合っていく、といった意図があると当院の作業療法士、木納学会長がおっしゃっていました。僕も演題発表させていただく身であるため、演題作成にあたってしっかりと「解き放て」るように、先輩だけでなく同期や後輩達からも意見を「解き放って」もらい発表に臨みました。多くの素晴らしい演題があった中、僕が優秀演題賞を受賞させていただき誠に恐縮な思いであると同時に、これからもより一層気を引き締めて作業療法士の名に恥じぬ仕事をしていこうと思いました。

最後になりましたが、この場を借りて演題作成・発表に協力していただいた皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

各部局からのお知らせ

事務局

毛利　陽介

晩秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本士会では、会員の皆様が安心して活動できるよう、各種手続きをオンライン化しております。

所属変更や休会などの手続きも簡単に行えますので、登録情報に変更がある場合は、最新の内容となるようお手続きをお願いいたします。

また、福利厚生の一つとして「産休・育児休暇に伴う休会制度」があります。

出産をされた次年度の年会費が無料となりますので、ぜひご活用いただき、子育てと仕事の両立にお役立てください。

さらに、会費未納による資格喪失期間が「2 年から 1 年」に変更となっております。今年度中に会費の納入がない場合は退会扱いとなりますので、必ず期限内の納入をお願いいたします。

なお、本会は定款上、日本作業療法士協会の会員（協会員）でなければ、奈良県作業療法士会の会員（県士会員）になることができません。

協会への入会がお済みでない方は、できるだけ早期にご入会いただき、ご活動いただければ幸いです。

事務局および財務担当では、皆様からお預かりした会費を適正に運用・管理し、より充実した事業運営を行ってまいります。

今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

◎会費　　：10,000 円
◎新入会員　：11,000 円

ゆうちょ銀行振替口座　　(郵便局の振込用紙をご利用下さい。)
口座記号番号　　００９３０－０－２３３８３９番
口座名称(加入者名)　　一般社団法人　奈良県作業療法士会

※この口座を他行等から振込される方は下記内容をご指定下さい
店名(店番)：〇九九(ゼロキュウキュウ)店　（０９９）
預金種目：当座　　口座番号：０２３３８３９
※振込書には氏名・住所・連絡先・所属を記載して下さい

以前使用していた、南都銀行の口座は使用できません。
お問い合わせ：HP 内お問合せメールまでお願いいたします。

教育部・学術部精神障害専門委員会

木納　潤一

＜現職者共通研修スケジュール＞
12/11（木）19:15～20:45　実践のための作業療法研究
03/05（木）19:15～20:45　職業倫理

2026年度も、**すべての現職者共通研修講座を開講予定**です。
2024年度より前に入会された方は、**2026年度末をもって現行のOT協会生涯教育制度が終了**します。したがって、**お早めに全講座の履修**をおすすめします。
2026年度を過ぎると、**新しい生涯学修制度**の対象となり、これまでの研修履歴が引き継がれない可能性があります。そのため、**2026年3月までに以下を修了**しておくことをおすすめします。
・現職者共通研修：10講座　・現職者選択研修：1講座　・MTDLP基礎研修
・基礎ポイント：50ポイント
これらを修了したうえで、**基礎研修修了手続き**を行ってください。
なお、**登録作業療法士（登録OT）**の申請には、「臨床経験5年以上」および「臨床実習指導者講習の修了」が必要です。現在5年未満の方も、基礎研修を修了しておけば、臨床経験5年を経た時点で読み替え申請が可能です。

＜災害支援対策委員会＞
2025年9月に、日本作業療法士協会主催の「大規模災害を想定した安否確認シミュレーション訓練」を実施しました。奈良県作業療法士会では、メールマガジンと公式LINEを用いております。
結果：全会員数572名、第1～3報の応答者数合計319名（応答率55.8%）
ご協力ありがとうございました。緊急時に情報を得る、連絡をとれる、という状況を平時から整えておくことが、災害への備えになります。今一度、メールマガジンと公式LINEの登録をご確認ください。当委員会は、奈良JRATと連携していけるよう､会員が災害支援関連の研修会へご参加いただけるよう活動しております。現地支援に行ける人材を育成することが急務になっております。是非みなさま、災害支援にご関心をもっていただき、発災時にみんなで力を合わせて支援ができる環境を整えていきたいと考えております。

＜スポーツ支援委員会＞
【eスポーツ】
1/18（日）9:30～12:00　奈良県社会福祉総合センターにて、新年マリオカート大会を開催します。当活動は、2～3か月に1回開催しております。複数回開催するうち、常連の子供たちも慣れてきたようで、仲良しのお友達もできたようです。また積極的に行動するようになった子もいます。
【ソーシャルフットボール】
10/18　ソーシャルフットボール関西大会に出場しました。8チーム中4位の快挙でした！
11/01　Half Time CUPに出場しました。6チーム中3位でした。
毎月1回、日曜日に練習会を橿原市運動公園で実施しています。サッカー好きな方、運動をしたい方、気軽に遊びにきてください！
【ソーシャルバスケットボール】
月1回平日の夜に橿原市中央体育館で練習をしています。こちらも気軽に遊びにきてください。
これらのお問い合わせは奈良県士会教育部までお問い合わせください。
Email：nara.ot.kyoikubu@gmail.com

事業部

福西　知史

深秋の候、会員の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。

事業部では引き続きスキルアップセミナーを実施しております。下記のスケジュールで開催を予定しておりますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。尚、奈良県作業療法士会のホームページからお申込みいただけますので、ご参照ください。

事業局スキルアップセミナー	
2025 年 12 月 10 日	「できる」から「使う」へ ～実生活に根ざす作業療法における Real world 評価と介入～
2026 年 1 月 23 日	子育て世代作業療法士のキャリアデザイン ～現場で聞けないママ OT のワークライフマネジメント～

学術部

福永　寿紀

県士会会員の皆さま

いつも学術活動へのご理解とご協力をありがとうございます。

先日は学会へ多くのご参加をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、学術部として最近あらためて感じているのは、「事例報告の大切さ」です。日々の臨床で感じたことや工夫を言葉にし、共有することは、私たちの専門性を高めるうえで欠かせません。事例をまとめる過程で、「なぜその支援を選んだのか」「どんな変化が起きたのか」と自分の思考を整理し、それがやがて“根拠ある作業療法”へとつながっていきます。

日常の小さな気づきや挑戦を形にすることで、他の作業療法士の学びや励ましにもなります。「こんな支援をしてみた」「この関わりで気づきがあった」そんな身近な報告を、ぜひ気軽に共有していただければと思います。

今後も、学術部では皆さまの実践が発信され、互いに学び合える場づくりを続けてまいります。どうぞ引き続き、学術活動へのご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

委員会だより

MTDLP 推進委員会

～MTDLP の実践報告をしてみませんか？～

MTDLP 推進委員会では、奇数月の最終月曜日に MTDLP 実践者研修を実施しています。この研修では、会員の方が事例検討を通して MTDLP の理解を深めることを目的としています。今年度も 2 回の研修会を終えており、活発な検討会となりました。

事例発表や MTDLP 実践に不慣れな会員には、発表や実践のサポートもさせていただきます。また、本研修は（一社）日本作業療法士協会の事例発表および事例検討への読み替えも可能となっています。詳しくは、当士会ホームページで案内させていただきます。興味のある方はご連絡をお待ちしております。

MTDLP 推進委員会委員長
北別府慎介（西大和リハビリテーション病院、MTDLP 指導者）
連絡先：mick531121@gmail.com

地域包括ケアシステム委員会

会員の皆さま

今年は、2025 年となりました。覚えておられる方もいると思いますが、「2025 年問題」の年を迎えています。全ての団塊の世代が、75 歳以上の「後期高齢者」を迎える年です。日本では、65 歳から 74 歳を「前期高齢者」、75 歳以上を「後期高齢者」と区分されていますが、高齢になるほど、医療・介護の必要度が上昇します。これから、「後期高齢者」人口が増える日本では、医療・介護がひっ迫する前に「予防」の重要性が増してきます。

地域包括ケアシステム委員会では、「介護予防」に作業療法のちからで「元気な高齢者」を増やす研修会を企画しています。是非、ご参加をお願いします。

地域局　地域部　地域包括ケアシステム委員会
委員長　安井敦史
株式会社コミュニティケア　　090-1676-9898

認知症支援委員会

過ごしやすい季節はあっという間です。そしてイベントも目白押しです。認知症支援委員会では 9/21 アルツハイマ―デーに家族の会のイベントに協力参加しました。家族の会さんからの無茶ぶりにも耐性ができてきて、そのあたりのお褒めの言葉も頂きました！また、11/2 は宮城実行委員長や西浦支援委員が実行委員として開催した天理 RUN 伴にも参加、歩きやすい気温の中、天理市役所と天理駅コフフンをご本人・ご家族・支援者・子供たちで往復しました。天理市長も駆けつけ、作業療法士が天理の街づくり・認知症啓発に必要不可欠な存在なんだなと感じました。斑鳩町の地域事業の見学（12 月～毎月）、年明けには毎年恒例の当事者研修も開催予定ですので、またメルマガなどでお知らせします。

自分に何ができるかな？の前に、何をしてるかな？と見に来てください。お待ちしてまーす！

認知症支援委員会　委員長　千葉　亜紀
秋津鴻池病院　0745-63-0601

ブロックだより

奈良ブロック

渡邉　俊行

暦の上では冬と肌寒い季節になりましたが、会員のみなさまにおかれましては変わりなくお過ごしでしょうか？

今年度も残り少なくなってきましたが、ブロック会議と研修会を予定していますので、交流も含めての参加をお待ちしています。詳細については追って連絡しますので、メールマガジンが未登録の会員は登録をお願いいたします。

なお、今年度の会費納入や異動などの変更処理がお済みでない会員は、手続きを速やかにお願いいたします。

中・南和ブロック

片岡　歩

中南和ブロックの皆様、いかがお過ごしでしょうか。気温も下がり、感染症のリスクが高まる季節となってまいりました。くれぐれもお体にはご自愛ください。

さて、少し前のお話になりますが、9 月 7 日に開催いたしました第 16 回奈良県作業療法学会には、230 名もの方々にご来場いただき、盛況のうちに無事終了いたしました。

これもひとえに皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。次年度は東和ブロックの主催となります。現在、さまざまな企画を検討・準備していただいていますので、次年度もぜひご参加ください。

なお、今年度の中南和ブロックでの研修はございませんが、次年度は皆様にとって魅力ある研修を企画してまいりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

東和ブロック

岩本　健吾

晩秋の候、会員の皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

今年度の東和ブロック研修会は 2 月に開催を予定しております。ハイブリッドでの開催となりますが、交流の機会を大切に、よろしければ現地にもお運びいただけますと幸いです。

また、次年度の奈良県作業療法学会は東和ブロックが中心となって運営いたします。ご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にご連絡ください。

今年度の年会費納入がお済みでない会員の方は、納入手続きのほど、よろしくお願いいたします。

西和ブロック

南川　勇二

奈良県作業療法士会会員の皆さま

日頃より、奈良県作業療法士会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

現在、西和ブロックでは研修会の開催に向けて企画を進めております。テーマや開催日程の詳細が決まり次第、改めてご案内いたしますので、多くの皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

また、今年度の奈良県作業療法士会の年会費納入がまだお済みでない会員の方は、お早めにお手続きをお願いいたします。

今後とも、奈良県作業療法士会ならびに西和ブロックの活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

エッセイリレー

「 関係性の重要性について 」

東生駒病院 リハビリテーション科
山田七音

私は作業療法士として回復期病院に勤めて半年が経過しました。私が作業療法士になったきっかけは、将来、日常生活を支援できるような仕事に就きたいという思いから作業療法士の存在を知ったことで、当時は病院に就職することは全く想像していませんでした。

学生時代には様々な施設にて実習をさせていただき、就職してからも先輩の見学につかせていただき知識だけでなく様々ことを学んでいます。特に私がこれまで学んできた中で一番印象に残っていることは「人となり」という言葉です。

人となりは、患者様に寄り添い、気持ちを汲み取る観察力とコミュニケーション能力が求められ、患者様のことを知ろうとすることが大切であると学びました。

私が理想とする作業療法はリハビリをすることが「楽しい」と感じてもらうことです。慣れない病院での生活を過ごす中で、少しでも私たちセラピストが患者様に安心感を持ってもらえるよう、患者様がセラピストと関わることが楽しい、リハビリの内容が楽しいなど、リハビリの時間を楽しいと感じてもらうことがリハビリ継続につながる一つのモチベーションとなり、患者様の回復につながると考えています。

この理想とする作業療法士になるために、知識の向上だけでなく、患者様のことを知ろうとする人となりを大切にし、患者様との関係性向上につなげられるよう、精一杯努力していきます。

次回は　天理よろづ相談所病院　白川分院所属　山本柚波さんです

施設紹介

医療法人　南風会　万葉クリニック

当院は吉野郡下市町にあった「下市病院」が平成 24 年橿原市に移転し「万葉クリニック」として生まれ変わりました。1 階から 3 階が「万葉クリニック」、4 階が介護老人保健施設「万葉テラス」となっています。クリニックという名称ですが病床のある精神科病院です。

精神科病床：240 床（急性期治療病棟 60 床/精神科地域包括ケア病棟 60 床/認知症治療病棟 60 床/精神療養病棟 60 床）

リハビリテーション科：作業療法士 12 名

当院では病棟別のチームを組み、病棟出張型の運営を中心に 365 日作業療法を実施しています。

同じ建物内に介護老人保健施設がある強みを生かして「万葉テラス」の理学療法士と連携し、入院患者様の身体リハビリも積極的に行っています。

また看護部と協力し、多くの患者様が作業療法に参加できる環境を整えています。多職種との連携を大事にしながら患者様に作業療法を通して生き生きとした時間を過ごしていただけるよう関わっています。

開設して 14 年が経過しましたが、施設は開放的で手入れが行き届いており、患者様も職員も気持ちよく過ごすことができる病院です。

広くて明るい作業療法室には大きなウッドデッキとテニスコートが併設されており、患者様の日光浴や散歩、軽スポーツに利用しています。

奈良県作業療法士会
メールマガジン登録のお願い

mail magazine

広報誌まほろば は
印刷・発送は廃止し、

メールマガジンやホームページでの公開となっております。

研修会情報やお知らせなどの情報取得のため、是非メールマガジンの登録をお願い致します。

登録方法

①QR コード読み取る→

必要事項の入力

or

②空メール送信

宛先：naraot@w.bme.jp

奈良県作業療法士会

LINE 公式アカウントはじめます

研修会情報や

お知らせ配信します

↑↑QR コード読み取り、登録おねがいします

問 い 合 わ せ

部局長

事務局
大和大学白鳳短期大学部
事務局長　毛利　陽介
TEL(0745)-60-9007
Mail mouri@hakuho.ac.jp

教育部
秋津鴻池病院
部長　木納　潤一
TEL(0745)-63-0601
FAX(0745)-62-1092

事業部
株式会社 UT ケアシステム
部長　福西　知史
TEL(0744)-20-1785
FAX(0744)-20-3354

学術部
大和大学白鳳短期大学部
部長　福永　寿紀
TEL(0745)-60-9007
FAX(0745)-32-7870

保健福祉部
天理よろづ相談所病院
白川分院
部長　前岡　伸吾
TEL(0743)-61-0118

ブロック長

奈良ブロック
関西学研医療福祉学院
ブロック長　渡邉　俊行
TEL(0742)-72-0600

東和ブロック
奈良県総合リハビリテーションセンター
ブロック長　岩本　健吾
TEL(0744)-32-0200

西和ブロック
西大和リハビリテーション病院
ブロック長　南川　勇二
TEL(0745)-71-6688

中南和ブロック
大和大学白鳳短期大学部
ブロック長　片岡　歩
TEL(0745)-69-0807

※県士会登録・異動・退会・休会・会費などについては、各所属ブロック長へお問い合わせ下さい。

委員長

地域包括ケアシステム
株式会社コミュニティケア
委員長　安井　敦史
TEL090-1676-9898

MTDLP 推進委員会
西大和リハビリテーション病院
委員長　北別府　慎介
TEL(0745)-71-6688

認知症支援委員会
秋津鴻池病院
委員長　千葉　亜紀
TEL(0745)-63-0601
FAX(0745)-62-1092

運転委員会
奈良県総合リハビリテーションセンター
委員長　林　朋一
TEL(0744)-32-0200
FAX(0744)-49-6424